

2018年度協定留学プログラム  
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部                      国際社会科学科                      2年（留学年次） 2年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 東国大学 社会科学部 メディアコミュニケーション学科
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2018年        3月        1日    ～    2018年        8月        31日 出国日        2018年        2月        24日 最終帰国日   2018年        9月        1日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

### 1. 留学全般について

#### (1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学前に私自身が掲げていた、人脈を広げるという目標は半年という長く見えてとても短い期間で達成できたのではないかなど私は思う。また、海外の大学の講義も聞くことができ、韓国の大学ならではのチーム発表などにも参加することができたので、私の韓国留学生活はとても充実していたなと今振り返って見ると思う。半年間で何をすることができるだろうか、と考えてはいたのだが、どれだけ現地の大学生のような生活をするすることができるかと考えてみたら自分がやってみたいことが自然と見えてきた。まずは大学の講義、英語を学ぶ授業だけではなく、英語による授業を受けることで、自分と同じ興味関心を持つ友人ができた。そして、韓国語学堂。前から、第二外国語を学びたいと考えていて、この環境での学びはとても効果的だったことに加えて、自分でもその成長をすぐに感じることもできたので、とてもいい経験になった。その次にサークル。私は韓国語を留学生に教えてくれるサークル、ハラムとダンスサークル ODC に参加した。ハラムは週一回の授業が土曜日にあった。韓国語を教えてくれるだけではなく、そこに所属していた韓国の学生たちはもちろん他の留学生たちともコミュニケーションを取れる楽しいサークルだった。また、ODC の活動は週に2回あったが、言葉ができない私でも仲間に入れてくれて本当に楽しかった。実は、初めはこのサークルに入ろうか悩んでいた。私自身、韓国語が全くと言っていいほどできなかったからだ。最初は本当に緊張して、一言も喋ることができなかったのだが、良い経験と良い人たちに出会えたので、自分の勇気を褒めたいと思う。

学期中は留学生の敵である“暇”な時間を少しでもなくそうと、外に出るようなスケジュールにしたのは正解だった。自分を一人にさせる時間も少なくすることができたし、その分、

この国の文化、言語、人と出会えることができたからだ。その代わり、夏休みはゆっくり韓国という国を観れる時間を増やした。

## (2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

これは何度聞かれても、韓国語だと言うと思う。生活においてもやはり必要だし、何と言っても言葉が通じないときのあの空気を減らせるのはとても大きいと思う。もちろんだが、現地の人と会話する上でも、自分がどれだけ言葉を使えるかで自身が得られる情報の量も変わってくる。確かに、言葉ができなくても韓国語を使わなくて済む方法はたくさんある。しかし、この環境に自分から来た以上無駄にしたいはなくて、留学前の自分をもっと叱りたい。韓国語をもっと本気でやれと。

## 2. 留学先大学について

### (1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

私は三つの授業をとったが、やはり教授によってその講義の印象は大分変わってくる。やる気のない教授はもはや英語での授業をしてくれない。私にとってとても難しい授業だった。また英語を学ぶアメリカ文化の授業は、生徒が教科書の内容発表をして、教授はその解説といった授業構成だったので、簡単ではあったが、テストが細かく聞いてくる問題ばかりだったので驚いた。今回の留学で履修した授業の中で一番好きだった授業は、教授も去年から東国大学へ来たばかりで、以前はアメリカの大学で教授をしていたということで、授業に対する姿勢がとてもよく、私も学んでいて楽しかった。履修科目について第一回目の授業できちんと教授を判断しておくべきだったなと感じた。

### (2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

前から聞いてはいたが、やはり山の中にある大学ということで、坂が多い。毎日がエクササイズだった。しかし、ソウルでも有名な大学なので施設はとても充実していたのではないかなと思う。図書館では学生が自由に使用することのできるシアター室もあれば、講義室も多数あり、カフェや食堂もキャンパス内に多数あった。大学生活を送るにおいて、学生に優しい価格でどれも販売していたので嬉しかった。

### (3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

交換留学生は希望すれば、東国大学付属の韓国語学院に通うことができる。平日に毎日4時間の授業が提供される。価格は1学期155000ウォンで、はじめにレベルテストを受けて組み分けをされる。1級と2級は午後の授業、そのほかは午前中に開講されてい

る。またそのほかにも、大学の正規授業で韓国語の授業を受けることができるが、これは週に1日ということで、その分進みは遅い。しかし単位をもらうことができる。

**生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。**

到着してからは、自分でできないことは全てバディに相談することができるが、バディによっては自分の留学生活をサポートしてくれないこともあるみたいだ。また、国際センターの日本学生担当の方からはどちらかというと放置される。質問などがある場合は直接国際センターにむかって聞くのが良い。メールは返事が返ってこない。また、今年からだったらしいのだが（来年はわからない）韓国の学園祭のショーでは有名人たちの公演が行われる。学生たちはステージの目の前でそれを見ることができるのだが、交換留学生は入る事ができないと言われてしまった。大学の他の生徒と変わらない対応を受けられると思っていたのでとても残念だった。来年はそのような事がないように願っている。

**資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。**

**(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。**

大学周辺の治安はとても良いと思う。警備強化区域なのか、CCTV も多く、夜にはパトロールのパトカーも多い。これからか、静かで留学中事件にあった事もなかった。

**(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。**

**(6) 留学先での履修科目等**

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
American culture and film (3)	
Understanding network (3)	
Politic communication (3)	

### 3. 宿舎について

#### (1) 種類

大学の寮／アパート／ホームステイ／その他（ ）

#### (2) 家賃

月額（現地通貨）約 36,4000 ウォン、（日本円）約 36400 円

#### (3) 食事

食事付き（朝・昼・夕）／自炊／その他（ ）

#### (4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩／自転車／バス／地下鉄／その他（ ）、計 5 分

#### (5) 感想、良かった点・悪かった点

大学内にある寮なので、アクセスが非常に良かった。しかし、キッチンがなかったので食事は外で済ませなければならなかった。

### 4. 費用について

#### (1) 学 費

（現地通貨）約、（日本円）約 国際社会科学部の学費+15500(語学堂) 円

#### (2) 渡航方法と金額

飛行機／船舶／その他（ ）、（日本円）約 円

#### (3) 生活費

（現地通貨）月額・年額 約 500000 ウォン、（日本円）約 50000 円

※宿舎費を含めた金額を記入してください。

#### (4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード／クレジットカード／国際ブランドプリペイドカード／現金／その他（ デビットカード ）

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

デビットカードに入っているお金を、こちらの ATM でキャッシュで引き落とす事ができたが、手数料が360円ととても高額だった。また使える ATM を探すのに一苦労した。他の留学生にはLINE PAY を使用した方法が一番良いと聞いた。

#### (5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

全額、生活費として使用。

### 5. 保険について

#### (1) 保険会社名

東京消防協会

#### (2) 保険料

円

**(3) 加入した保険の種類、内容**

海外での怪我、賠償責任を補償。

**(4) 感想、良かった点・悪かった点**

すでに父が入っていた保険が国外もカバーしていたので、海外保険には申し込まなかった。しかしこれには窃盗などの保証はされていなかったのも、もしもパスポートが盗まれたりした時などには対応していなかった。

**6. 荷物について**

**(1) 荷物の送付方法**

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

**(2) 持って行って良かったと思う物**

特に思いつかない

**(3) 持って行く必要が無かったと思う物**

特に思いつかない。

**(4) 持って行けば良かったと思う物**

日本のお土産

**7. 平日および週末の平均的な過ごし方**

**(1) 平日**

授業を受けて午後は語学堂、夜はサークルまたはご飯を食べて、寮に帰宅。

**(2) 週末**

週末は、課題をしたり友人と出かけたり、またはサークルの公演を見に行ったりした。ハラムの授業も毎週土曜日にあったのでそれに参加したりもした。

**8. 後輩へのアドバイス等**

自分がやりたい事を大まかでも持っていると思うので、それを達成できるように留学生活のプランを立てていってください。現地に到着したら、散らばっている情報を自分から集めて行って、行動に移していくようにしてください！あとは勇気を持ちつつ、学んで、遊んで、時々休んで、楽しんでください。時間はすぐなくなります。

**9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。**

私を交換留学生として送り出していただいた国際交流センターにはとても感謝しております。ありがとうございました！